

情報連絡員報告を中心とした
県内の中小企業動向
11月

【漬物製造】 【県内全域】

組合員の中に脱退希望者がいる。

【味噌製造】 【県内全域】

原料米が品薄で高騰を続けており、収益の悪化が懸念される。

【麺類製造】 【県内全域】

小麦の国際価格は金融危機の影響で下落しており、次回（4月）の政府売渡し価格は引き下げが見込まれる。

しかし、既に大幅に上昇済の原料を使用している我々は、その転嫁のために交渉中である。農林水産省が経済対策の一環として輸入小麦の価格改定ルールを見直し、製粉会社に売り渡す際の価格を前倒しで引き下げる検討に入ったというニュースには困惑している。

【魚加工製造】 【銚子】

円高により、サバ・サンマの輸出が停滞。在庫が増大し資金回転率が悪化している。

【シャツ製造】 【千葉・東京】

春物の動きが遅く、景況は悪くなる一方だ。

【製材】 【県内全域】

外材（赤マツ）等の一部値上りがあるが、全体的に低迷している。組合として買上げ者の増員計画を策定し販売促進をしたが、計画より市場来客者は少なかった。

材木単価が相変わらず安く、売上げが伸びず、資金繰りは厳しい。

【製材】 【木更津】

ロシア材（EAST・BOYA GER）が11月4日入港。

3193㎡。予定ではロシア材が平成21年から関税を80%上昇との情報であったが1年延期の見込み。

【生コン製造】 【県内全域】

ここ数ヶ月最悪の状態が続いていて、回復の兆しが見えない。

【電気鍍金】 【県内全域】

5〜10月累計生産額の前年同月比はマイナス13%であった。

【鉄工】 【千葉】

好材料が少なく、各社苦戦中。

【機械部品製造】 【野田】

受注減で収益状況は依然厳しく、先行き不安感が強まっている。

【採石】 【県内全域】

全体的な景気の悪化が今後の需要に悪影響を及ぼさないか危惧している。景気浮揚策として大型の公共投資が望まれる。

【土砂採取】 【県内全域】

羽田の埋め立て工事は、平成19年5月から開始され、山砂のうち地盤改良用の山砂が9月末に搬入。21年3月までは石ズリが搬入される。4月以降は本格的に大量の山砂が搬入されることになっている。

【食肉卸売】 【千葉市他】

ボイラー用の灯油が一時期に比べ、安くなったので安心している。

【建築材料卸売】 【県内全域】

現在より来年の落ち込みが心配である。業界は仕事超激減。かつて経験の無い需要の落ち込みだ。

袋セメントの値上げは実施されたが、他の建材商品が軒並み値崩れしており、第二弾の値上げに暗雲。セメントメーカーは赤字転落のためコスト転嫁圧力は増すが、流通商社は与信不安に加え、薄商いに嫌気感。

【小売】 【大網白里】

消費不況という不安感が増加している。

【中古車販売】 【県内全域】

相場、大勢は弱含み基調。（部分的には強含みも。仕入セーブの公算大。良質車は引き合い活発。）

【小売】 【東金】

高価格なものが売れなくなっている。

いる。早くも周辺各店が冬物の早めなプライスダウンを始めている。売れない事を予測しての行動と思われる。当分売れない状況が続くと思われるので、生き残りの対応を模索している。

【遊覧船】 【鴨川】

ようやくガンリン等の燃料も落ち着いてきたようだが、船舶用燃料や灯油等はいまだ大幅に下げきていない。

【一般廃棄物処理】 【千葉】

軽油の価格が落ちてきたので今後の収益の状況は好転するものと思われるが、現在は有価物の価格が下がっていることもあり、収益状況は変わらない。

【学習塾】 【県内全域】

月末に恒例の年末研修を行い、あきる野市にある中堅の塾を訪問し、いろいろな経営に役立つ情報を得てきた。組合員1塾加入。

【土木建築サービス】 【県内全域】

事業量の減少が、廃業・倒産、低価格入札等の原因となっている。組合員数は減少する可能性がある。景況は厳しくなっているが政府の緊急経済対策における公共事業費の増額に期待している。

【ソフトウェア】 【県内全域】

景況は悪化。2社脱退した。

【水道管工事】 【県内全域】

組合員の推移として、本年度は現在で加入3社、脱退3社であるが、年度末に向けて脱退が見込まれそうである。

【建設揚重】 【県内全域】

燃料費の下がり分を価格で下げよう要求が出ている。稼働率は低迷が続いている。

【建設揚重】 【県内全域】

燃料費の下がり分を価格で下げよう要求が出ている。稼働率は低迷が続いている。